



平成 18 年 2 月期 第 3 四半期財務・業績の概況(連結)

平成 17 年 12 月 21 日

会社名 株式会社 ティー -

( JASDAQ ・コード番号 : 7610 )

( URL <http://www.tay2.co.jp> )

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長

TEL (03) 5408-5100

大橋 康宏

責任者役職・氏名 執行役員サバカンパニ- C F O 兼 経 理 財 務 部 長 兼 経 営 企 画 部 長

片山 靖浩

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用有無 : 有

(税金費用の計算は簡便的な方法を採用しております。)

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

(平成 17 年 7 月 1 日を合併期日として、100%子会社であった㈱ブック・スクウェア中部を当社が吸収合併いたしました。)

2. 平成 18 年 2 月期第 3 四半期の財務業績 (平成 17 年 3 月 1 日 ~ 平成 17 年 11 月 30 日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 2 月期第 3 四半期	24,009	(10.3)	434	(41.4)	429	(43.0)	201	(59.2)
17 年 2 月期第 3 四半期	21,759	(19.5)	307	(33.7)	300	(32.5)	126	(41.9)
(参考) 17 年 2 月期	33,630		790		771		406	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当 り四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18 年 2 月期第 3 四半期	400	32	396	49
17 年 2 月期第 3 四半期	254	53	254	11
(参考) 17 年 2 月期	815	20	801	88

(注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

2. 平成 17 年 4 月 20 日付で 1 株につき 10 株の割合で株式分割をしており、17 年 2 月期第 3 四半期及び 17 年 2 月期の 1 株当たり四半期(当期)純利益、潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益は当該影響を遡及して計算しております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18 年 2 月期第 3 四半期	12,050	4,016	33.3	7,930 84
17 年 2 月期第 3 四半期	12,599	3,604	28.6	7,178 18
(参考) 17 年 2 月期	11,222	3,872	34.5	7,758 60

(注) 平成 17 年 4 月 20 日付で 1 株につき 10 株の割合で株式分割をしており、17 年 2 月期第 3 四半期及び 17 年 2 月期の 1 株当たり株主資本は当該影響を遡及して計算しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18 年 2 月期第 3 四半期	304	506	79	1,239
17 年 2 月期第 3 四半期	195	1,158	1,642	1,748
(参考) 17 年 2 月期	229	1,071	1,134	1,361

## (4) セグメント別売上高

区 分	期 別	前第3四半期連結会計期間 〔自平成16年3月1日 至平成16年11月30日〕		当第3四半期連結会計期間 〔自平成17年3月1日 至平成17年11月30日〕		対前年 同期 増減率	前期(通期)	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		金 額	構 成 比
		百万円	%	百万円	%		百万円	%
リ サ イ ク ル 品	本	3,066	14.1	3,148	13.1	2.7	4,208	12.5
	ゲ ー ム	3,598	16.5	4,240	17.7	17.9	5,181	15.4
	C D	771	3.6	631	2.6	18.2	1,028	3.1
	ビデオ・DVD	669	3.1	765	3.2	14.4	918	2.7
	小 計	8,106	37.3	8,786	36.6	8.4	11,337	33.7
新 品	本	604	2.8	546	2.3	9.6	794	2.4
	ゲ ー ム	9,533	43.8	9,791	40.8	2.7	16,530	49.2
	C D	808	3.7	853	3.5	5.6	1,185	3.5
	ビデオ・DVD	1,003	4.6	1,314	5.5	30.9	1,455	4.3
	そ の 他	101	0.5	99	0.4	2.5	142	0.4
小 計	12,051	55.4	12,604	52.5	4.6	20,109	59.8	
レ ン タ ル	175	0.8	148	0.6	15.4	234	0.7	
業 務 提 携 部 門	149	0.7	44	0.2	70.4	81	0.3	
そ の 他	74	0.3	75	0.3	2.6	76	0.2	
古 本 市 場 事 業		20,556	94.5	21,660	90.2	5.4	31,838	94.7
アイ・カフェ事業		858	3.9	1,990	8.3	132.0	1,312	3.9
EC(電子商取引)事業		345	1.6	358	1.5	3.8	478	1.4
合 計		21,759	100.0	24,009	100.0	10.3	33,630	100.0

(注) 1. 前期及び当期の第3四半期に係る数値については、監査法人の監査を受けておりません。

2. 上記の金額に消費税等は含まれておりません。

## 3. 業績の概況(平成17年3月1日～平成17年11月30日)

## (1) 経営成績

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善に伴う個人消費の拡大に加え、企業業績の改善による設備投資の増加などから、回復基調となりました。当社グループの属する小売サービス業につきましても、失業率の低下や個人消費の拡大などから回復傾向の中で推移いたしました。

こうした環境の下、古本市場事業の既存店売上高が堅調に推移していることや、アイ・カフェ事業、EC事業の拡大などにより、当第3四半期連結会計期間の連結売上高は、240億9百万円(前年同期比10.3%増)、連結経常利益は4億2千9百万円(同43.0%増)、連結第3四半期純利益は2億1百万円(同59.2%増)となりました。

事業の種類別セグメントごとの状況は以下の通りであります。

## 【古本市場事業の概況】

「古本」の市場におきましては、業界大手企業の出店数も減少傾向にあるなど、市場の成熟化がさらに進行してまいりました。「家庭用テレビゲーム」の市場につきましては、昨年11月に発売された「ドラゴンクエスト」のような超大型タイトルはなかったものの、昨年末に新型のハード機器である「ニンテンドーDS」、「プレイステーション・ポータブル」が発売されたことにより市場が活性化されました。「音楽および映像メディアソフト」の市場につきましては、音楽ソフトにおいては「ケツノポリス4」、映像ソフトにおいては「DRAGON BALL DVD-BOX DRAGON BOX GT 編」、「ファイナルファンタジー アドベントチルドレン」などのヒットはあったものの、前年に比べて人気タイトルの発売数が少なく、伸び悩む展開となりました。

このような環境の下、古本市場事業においては、既存店の店舗競争力の強化に向け、古本を中心としたリサイクル

品の販売体制強化、マーケットの変化に対応した店舗レイアウトの変更、出店から年数の経過した店舗の改装などに注力いたしました。新規出店としては、直営店として、古本市場灘店（神戸市）、ブック・スクウェア三交店（三重県）の2店舗を出店いたしました。

販促活動の面におきましては、夏のキャンペーンとして「ふるいち探検隊キャンペーン1&2」を実施し、新品ゲームを中心に各種商材の売上拡大を図りました。

また、平成17年7月1日付けで、連結子会社であった株式会社ブック・スクウェア中部を吸収合併しております。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間における古本市場事業の売上高は216億6千万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は11億6千2百万円（同19.6%増）となりました。

#### 【アイ・カフェ事業の概況】

「インターネット・コミック・カフェ」の市場につきましては、業態の認知度が大きく向上し、市場は拡大している一方、同業他社の出店競争により競争も激しくなっております。

このような環境の下、アイ・カフェ事業においては、アイ・カフェの多店舗化に向け、出店業務を担当するオープンバイザーの設置や出店・店舗運営関係業務のマニュアル化、アイ・カフェとしてのクオリティを維持しながらの投資コストの引き下げなど、F C店の出店拡大に向けた体制の構築に注力いたしました。こうした結果、新規出店としては、直営店2店舗のほか、F C店として、中庄サンフラワー店（岡山県）、Annex 金古店（群馬県）、越谷駅西口店（埼玉県）、紀の川店（和歌山県）、Annex ららパーク天童店（山形県）、コマーシャルモール博多店（福岡市）の6店舗を出店し、F C店の出店が加速してまいりました。

店舗運営面におきましては、会員数の拡大のため1周年を迎えた店舗においては、1周年キャンペーンを実施するなど販促活動を強化したほか、デジタル・ネットワーク・アプライアンス株式会社が提供するビデオ・オン・デマンドサービス「でじゃ」を始めとするアイ・カフェ店内で視聴いただける映像コンテンツの拡充、季節に合わせた新メニュー、新サービスを導入するなど顧客サービスの向上に努めました。

また、連結子会社のインターピア株式会社においては、インターネット・コミック・カフェ向けの店舗運営管理システム「Necca -Manager System Solution」の販売が拡大し、順調に業績を伸ばしております。

こうした結果、新店の出店に加え既存店の売上高も伸張し、アイ・カフェ事業の売上高は19億9千万円（前年同期比132.0%増）となりました。一方、利益面におきましては、既存店の業績は改善しているものの、直営店2店舗の出店に伴う出店費用の発生などにより、営業損失8千万円（前年同期は営業損失1億9千1百万円）となりました。

#### 【E C事業の概況】

E C（電子商取引）の市場は、ブロードバンド環境の普及、各企業における取組の進化、取扱商材の拡大などにより、拡大を続けております。

このような環境の下、E C事業においては、平成16年12月にモード®に@古本市場をオープンしたのに続き、平成17年4月27日にVodafone live!®、5月12日にはEZweb®にサイトをオープンし、携帯電話3キャリアすべてのショッピングメニューをカバーいたしました。これにより、市場が急速な勢いで拡大しているモバイルコマース（携帯電話など移動体通信サービスを利用した電子商取引）への取組を強化いたしました。

そうした結果、E C事業の売上高は3億5千8百万円（前年同期比3.8%増）となりました。一方、利益面におきましては、2,000円（税込）以上購入の方を対象にした送料無料キャンペーンを実施するなどの販促施策を展開したほか、アクセス数の増加やサイトのユーザビリティ（利便性）の向上のためのシステム増強投資を行った影響などにより、営業損失3百万円（前年同期は営業利益1千3百万円）となりました。

## 通期の見通し

今後のわが国経済につきましては、原油価格の高騰に伴う影響が懸念されるものの、雇用環境の改善や個人消費の拡大などにより、回復傾向が持続するものと思われま

こうした環境の下、当社グループは、将来に向けての必要な投資を行いつつ、店舗競争力の強化、業務効率の改善などにより業績の向上を図ってまいります。

古本市場事業におきましては、引き続き直営店の出店を継続する一方で、既存店の店舗競争力の改善に重点をおき、一定の年数が経過した店舗の改装や、市場の変化に対応した効率的な売場作りを推進してまいります。また、新品・リサイクル品のワンストップショッピングを提供するメディア・コンプレックス戦略の強みを活かしつつ、リサイクル品の取扱いを強化することにより利益率の向上を図ってまいります。

アイ・カフェ事業におきましては、F C店の出店支援体制の強化、出店コストの引き下げ、出店パッケージの多様化などにより、F C店の出店を加速させるとともに、店内で視聴可能な映像コンテンツ配信サービスなど顧客サービスをさらに充実させてまいります。また、連結子会社であるインターピア株式会社が開発した店舗運営管理システム並びに本部運営システムをシステム供給先企業間におけるファイヤーウォールの徹底を図りつつ、市場の拡大にあわせて拡販し、総合的な事業拡大に努めてまいります。

E C事業につきましては、システム面の投資により、@古本市場におけるアクセス数、売買高の増加に対応する環境を整備するとともに、顧客サービスの向上、取扱商材の拡充を実施することにより、事業の拡大を図ってまいります。

以上の結果、平成 18 年 2 月期の連結売上高は 374 億 5 千万円（前連結会計年度比 11.4%増）、連結経常利益は 7 億 7 千 5 百万円（同 0.5%増）、連結当期純利益は 4 億 1 千万円（同 0.9%増）を見込んでおり、平成 17 年 4 月 18 日付当社「決算短信」にて発表いたしました業績予想の変更はありません。

## 1. 第3四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	前第3四半期連結会計期間末 (平成16年11月30日)		当第3四半期連結会計期間末 (平成17年11月30日)		前連結会計年度の要約貸借対照表 (平成17年2月28日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%
流動資産						
現金及び預金	2,045,266		1,239,284		1,444,566	
売掛金	282,105		336,948		280,282	
たな卸資産	4,466,021		4,534,458		3,704,190	
その他	594,517		690,674		542,699	
貸倒引当金	611		367		925	
流動資産合計	7,387,299	58.6	6,800,999	56.4	5,970,813	53.2
固定資産						
有形固定資産						
建物及び構築物	1,918,995		1,815,981		1,806,280	
土地	242,279		242,279		242,279	
建設仮勘定	81,826		51,485		146,520	
その他	294,617		295,624		283,160	
有形固定資産合計	2,537,718		2,405,370		2,478,240	
無形固定資産						
ソフトウェア	233,665		191,448		191,633	
その他	182,374		128,936		173,534	
無形固定資産合計	416,040		320,385		365,168	
投資その他の資産						
長期貸付金	535,977		476,761		523,034	
差入保証金	1,217,725		1,400,998		1,252,395	
その他	517,684		659,118		645,963	
貸倒引当金	12,986		13,115		13,115	
投資その他の資産合計	2,258,400		2,523,762		2,408,277	
固定資産合計	5,212,160	41.4	5,249,518	43.6	5,251,686	46.8
資産合計	12,599,459	100.0	12,050,517	100.0	11,222,499	100.0

(単位：千円)

期 別 科 目	前第3四半期連結会計期間末 (平成16年11月30日)		当第3四半期連結会計期間末 (平成17年11月30日)		前連結会計年度の要約貸借対照表 (平成17年2月28日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
( 負 債 の 部 )		%		%		%
流 動 負 債						
買 掛 金	2,659,156		2,081,951		1,209,319	
1年内償還予定社債					22,100	
短 期 借 入 金	1,650,000		1,600,000		1,200,000	
1年内返済予定長期借入金	958,176		883,388		942,770	
未 払 法 人 税 等					274,491	
賞 与 引 当 金	4,906		4,712		89,878	
ホ <sup>○</sup> イント値引引当金	265,467		266,457		257,930	
そ の 他	796,309		657,632		713,859	
流 動 負 債 合 計	6,334,015	50.3	5,494,143	45.6	4,710,349	42.0
固 定 負 債						
社 債	22,100					
長 期 借 入 金	2,124,582		1,862,982		2,071,215	
退 職 給 付 引 当 金	39,337		50,157		42,687	
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	98,592		135,909		105,644	
そ の 他	162,962		171,832		178,069	
固 定 負 債 合 計	2,447,573	19.4	2,220,880	18.4	2,397,616	21.3
負 債 合 計	8,781,589	69.7	7,715,023	64.0	7,107,966	63.3
( 少 数 株 主 持 分 )						
少 数 株 主 持 分	213,319	1.7	318,919	2.7	242,215	2.2
( 資 本 の 部 )						
資 本 金	1,115,974	8.9	1,149,292	9.5	1,123,374	10.0
資 本 剰 余 金	1,070,269	8.5	1,103,581	9.2	1,077,669	9.6
利 益 剰 余 金	1,680,441	13.3	2,051,098	17.0	1,959,813	17.5
その他有価証券評価差額金	1,036	0.0	3,091	0.0	1,949	0.0
自 己 株 式	263,171	2.1	290,489	2.4	290,489	2.6
資 本 合 計	3,604,551	28.6	4,016,574	33.3	3,872,317	34.5
負債、少数株主持分及び資本合計	12,599,459	100.0	12,050,517	100.0	11,222,499	100.0

2. 第3四半期連結損益計算書

(単位：千円)

期 別 科 目	前第3四半期連結会計期間 (自平成16年3月1日 至平成16年11月30日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成17年3月1日 至平成17年11月30日)		前連結会計年度の要約損益計算書 (自平成16年3月1日 至平成17年2月28日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
		%		%		%
売 上 高	21,759,797	100.0	24,009,607	100.0	33,630,448	100.0
売 上 原 価	15,469,338	71.1	17,208,793	71.7	24,672,733	73.4
売 上 総 利 益	6,290,459	28.9	6,800,813	28.3	8,957,714	26.6
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	5,983,105	27.5	6,366,257	26.5	8,167,136	24.2
営 業 利 益	307,353	1.4	434,555	1.8	790,578	2.4
営 業 外 収 益	83,652	0.4	87,648	0.4	105,312	0.3
営 業 外 費 用	90,685	0.4	92,761	0.4	124,740	0.4
経 常 利 益	300,320	1.4	429,443	1.8	771,151	2.3
特 別 利 益	39,090	0.1	558	0.0	142,770	0.4
特 別 損 失	3,294	0.0	20,208	0.1	138,278	0.4
税金等調整前第3四半期(当期)純利益	336,116	1.5	409,792	1.7	775,642	2.3
税 金 費 用	169,811	0.7	151,055	0.6	329,838	1.0
少 数 株 主 利 益	39,462	0.2	56,852	0.3	39,589	0.1
第3四半期(当期)純利益	126,842	0.6	201,884	0.8	406,214	1.2

3. 第3四半期連結剰余金計算書

(単位：千円)

期 別 科 目	前第3四半期連結会計期間 (自平成16年3月1日 至平成16年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成17年3月1日 至平成17年11月30日)	前連結会計年度の剰余金計算書 (自平成16年3月1日 至平成17年2月28日)
	金 額	金 額	金 額
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	1,038,975	1,077,669	1,038,975
資本剰余金増加高 新株予約権の権利行使	31,294	25,911	38,693
資本剰余金第3四半期末(期末)残高	1,070,269	1,103,581	1,077,669
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	1,658,185	1,959,813	1,658,185
利益剰余金増加高 第3四半期(当期)純利益	126,842	201,884	406,214
利益剰余金減少高 配 当 金	104,586	110,599	104,586
利益剰余金第3四半期末(期末)残高	1,680,441	2,051,098	1,959,813

4. 第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

期 別 科 目	前第3四半期連結会計期間 (自平成16年3月1日 至平成16年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成17年3月1日 至平成17年11月30日)	前連結会計年度 (自平成16年3月1日 至平成17年2月28日)
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前第3四半期(当期)純利益	336,116	409,792	775,642
減価償却費	421,103	373,811	689,422
減損損失			13,110
賞与引当金の増減額(減少:)	73,159	85,165	11,813
ポイント値引引当金の増加額	31,369	8,527	23,832
退職給付引当金の増加額	4,027	7,470	7,377
役員退職慰労引当金の増加額	17,238	30,265	24,290
貸倒引当金の増減額(減少:)	32	558	411
受取利息及び受取配当金	1,558	1,619	2,328
支払利息	33,888	40,700	45,999
持分法による投資損益	17,874	10,084	6,806
長期貸付金の家賃相殺額	47,335	47,268	60,353
固定資産除却損	1,985	1,048	11,370
固定資産売却損	503		503
固定資産売却益			770
営業権売却益			142,000
売上債権の増減額(増加:)	692	56,666	1,130
たな卸資産の増加額	1,269,031	831,145	509,222
その他流動資産の増加額	87,300	69,974	49,990
仕入債務の増減額(減少:)	1,174,119	872,632	275,717
その他流動負債の増減額(減少:)	12,450	106,218	22,657
その他	102,430	35,299	131,527
小計	743,769	877,819	787,291
利息及び配当金の受取額	114	153	391
利息の支払額	34,444	41,550	44,225
法人税等の支払額	514,106	531,841	514,145
営業活動によるキャッシュ・フロー	195,332	304,579	229,312
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の純増減額(増加:)	214,018	83,013	16
有形固定資産の取得による支出	788,497	302,937	882,274
有形固定資産の売却による支出	12,319		74,378
無形固定資産の取得による支出	103,344	102,258	102,515
差入保証金の払込による支出	115,607	184,172	181,917
差入保証金の返還による収入	10,951	19,472	20,480
投資有価証券の取得による支出	1,824	1,838	2,457
子会社株式取得に伴う支出	97,928		97,928
長期貸付金の貸付による支出	36,102		26,212
長期貸付金の回収による収入	1,710		1,710
その他	173,922	17,517	124,958
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,158,419	506,239	1,071,796

期 別 科 目	前第3四半期連結会計期間 (自平成16年3月1日 至平成17年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成17年3月1日 至平成17年11月30日)	前連結会計年度 (自平成16年3月1日 至平成17年2月28日)
	金 額	金 額	金 額
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増加額	1,196,000	400,000	746,000
長期借入れによる収入	1,115,000	500,000	1,435,000
長期借入金の返済による支出	582,371	767,615	971,144
株式発行による収入	62,588	51,830	77,387
少数株主への株式の発行による収入	-	-	27,300
親会社による配当金の支払額	101,215	104,823	104,163
自己株式の取得による支出	47,827	-	75,505
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,642,173	79,390	1,134,873
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-	-
現金及び現金同等物の増減額(減少:)	679,087	122,269	292,389
現金及び現金同等物の期首残高	1,069,164	1,361,553	1,069,164
現金及び現金同等物の第3四半期末(期末)残高	1,748,251	1,239,284	1,361,553

## 5. セグメント情報

### (1) 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間(自平成16年3月1日至平成16年11月30日)

	古本市場 事業 (千円)	アイ・カフェ 事業(千円)	EC事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対 する売上高	20,556,333	858,136	345,328	21,759,797	-	21,759,797
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	11,593	2,081	28,121	41,796	41,796	-
計	20,567,926	860,217	373,449	21,801,594	41,796	21,759,797
営業費用	19,595,454	1,051,823	360,398	21,007,676	444,768	21,452,444
営業利益 (は営業損失)	972,472	191,605	13,051	793,918	486,564	307,353

当第3四半期連結会計期間(自平成17年3月1日至平成17年11月30日)

	古本市場 事業 (千円)	アイ・カフェ 事業(千円)	EC事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対 する売上高	21,660,232	1,990,924	358,450	24,009,607	-	24,009,607
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	11,710	-	42,301	54,012	54,012	-
計	21,671,943	1,990,924	400,752	24,063,619	54,012	24,009,607
営業費用	20,509,123	2,070,982	404,147	22,984,253	590,798	23,575,051
営業利益 (は営業損失)	1,162,819	80,058	3,394	1,079,366	644,810	434,555

前連結会計年度（自 平成 16 年 3 月 1 日 至 平成 17 年 2 月 28 日）

	古本市場 事業 (千円)	アイ・カフェ 事業(千円)	EC事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対 する売上高	31,838,944	1,312,744	478,759	33,630,448	-	33,630,448
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	14,573	1,919	38,088	54,581	54,581	-
計	31,853,517	1,314,663	516,847	33,685,029	54,581	33,630,448
営業費用	30,222,800	1,543,718	504,441	32,270,960	568,908	32,839,869
営業利益 (は営業損失)	1,630,717	229,054	12,406	1,414,068	623,489	790,578